

旧市民会館・図書館の活用に係るアイデア募集（一般向け） 記入様式

1 氏名	齊藤 友和
2 連絡先	
3 アイデアの内容	
<p>①提案の内容</p> <p>※提案の内容についてご説明下さい。</p>	<p>考え方：</p> <p>どんな施設をつくっても、一過性の人気で終わっては意味がありません。持続性があり、自走で回っていくような仕組みをつくることこそが、旧市民会館・図書館の活用を考えるにあたり、もっとも重要なポイントだと考えます。</p> <p>高石市の独自性：</p> <p>高石市には、素晴らしい点がいっぱいありますが、平均点以上の素晴らしさがあるだけでは、人は集まりません。リトルトーキョーでも、リトルキョートでも、リトルオーサカでも意味がありません。高石市ならではの「独自性」が重要だと考えます。では、その独自性とは何か？</p> <p>それは、「<u>高石市</u>」というネーミングにこそ、大きな可能性があることに気づきました。</p>

アイデア：

高い石をつかむ市、高石市。

日本を代表するクライミングの聖地へ！

クライミングは、高いところの石をつかみながら、上に上っていく競技です。つまり、高石市というネーミングは、クライミングを想起させやすいのです。「高石市=クライミングの街」というのは、すごくシンプルで分かりやすい記号として一度刷り込まれると、忘れられなくなります。だからこそ、高石市は、クライミングの聖地になることを高らかに宣言し、その環境を整えていくのがよいと考えます。「高石市=クライミングの街」により、いろんな化学反応が引き起こるのです。

施策内容：

- 旧市民会館・図書館を日本最先端のスポーツクライミングができる施設につくりかえる。
- スポーツクライミングの第一人者をアドバイザーとして招集。
- 高石市が、本気でクライミングの街を目指すことを、広く知らしめる。
- 子どもから大人までが自由にスポーツクライミングを楽しめる施設として活用。
- 日本を代表するようなトップクライマーの育成も行う。
- 指導者の募集。優秀な指導者には、住環境を格安で手配するなど優遇する。
- クライミング教室の開催。
- 独自のランキングなどを設け、クライマーの育成、輩出を行う。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ スポーツクライミングの国際大会なども行えるようにする。</li> <li>➤ 夜の仕事帰りのビジネスマンやビジネスウーマンの利用を想定し、おしゃれにライトアップされた中でクライミングができるなど、川沿いというロケーションも活かした施設作りを行う。</li> </ul>
<p>②採算性の確保の方法</p> <p>※①の提案について、どのように収益をあげ、採算性を確保するのかご説明下さい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 時間単位で有料でボルタリングを楽しめるようにする。</li> <li>➤ 平日、休日と教室を開催。健康維持のためのエクササイズとしてクライミングを楽しむ年配の方や、仕事帰りのビジネスマン、ビジネスウーマンをターゲットにした教室、本格的にトップクライマーを目指す選手育成教室などを開催する。</li> <li>➤ スイミングスクールのようなクラスわけを行い、幼少期からトップクライマーを養成していく。</li> <li>➤ スポーツクライミングを行っているサークル、大学の部活など、全国から合宿の受け入れ。</li> <li>➤ 国際大会なども行い、ファンによる集客も見込む。</li> </ul>
<p>③提案について自らが協力できる内容</p>	<p>私は、戦略 PR 会社に所属しております。そこで、いわゆるナショナルクライアントの PR 戦略の立案、実施などを行っております。ソーシャルをつかった認知拡大のための施策、デジタルコンテンツによる啓蒙施策などを得意としており、そのあたりでご協力させていただくことは可能かと思っております。</p>

※資料添付しております。ご確認ください。